

開け、世界



ヒューマンライブラリー@青学

主催 シビックエンゲージメントセンター

当日会える本

『摂食障害・クレプトマニア・Xジェンダー』

『元受刑者』 『ポリアモリー』 『発達障害』 『海外ルーツ』

2022年 11月 19日 (土)開催

開館 12:30 閉館 16:00

ヒューマンライブラリーとは

『人を本に見立てて読者に貸し出す図書館』のことで、
様々なバックグラウンドを持った人が「本」となって
自分の人生や経験について語り、読者はそれを聴きながら、
自由な対話を通じて多様性についての理解を深めていく取り組みです。

詳細はこちら↓



「ヒューマンライブラリー@青学」 開催にあたって

ヒューマンライブラリーとは「人を『本』に見立てて、『読者』に貸し出す『図書館』」です。

2000年にデンマークで始まり、現在では世界 90 か国以上で開催されています。

障がいや病気のある方やその支援者、セクシュアルマイノリティ、その他多様な属性を持つ人が「本」として人生や経験を語り、参加者が「読者」としてその語りを聴きながら自由な「対話」を通して多様性の理解を深めていく試みです。

普段はなかなか出会ってお話することのできない「本」のみなさんとの対話セッションをぜひ体験してください。

対話セッションでは「本」の方への質問だけでなく、感じたこと、ご自分の経験など、なんでも自由お話してみてください。

「本」のことを知ろうと思って参加したのに、それ以上に自分自身の考え方や生き方を振り返る時間にもなってしまう...それがヒューマンライブラリーの「対話」の魅力です。

「開け、世界」というテーマのとおり、本イベントを通じて「本」「読者」「司書」それぞれにとって世界が開くきっかけとなることを祈っています。



タイムテーブル・会場図

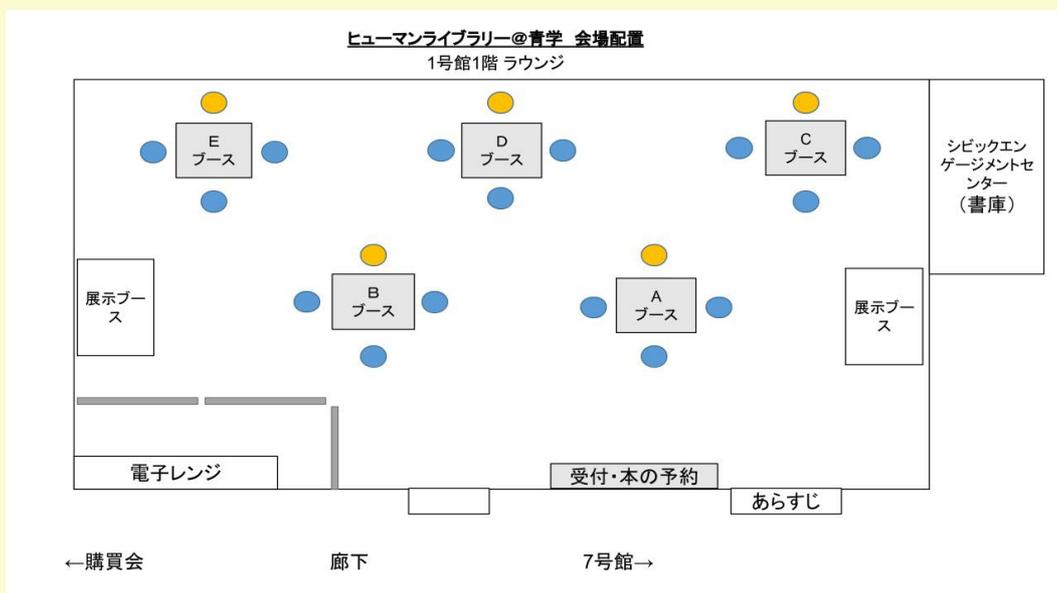
対話の進行と休憩時間

1. 対話時間は、質疑応答を含めて各セッション30分間です。
2. 「はじめ」、「終了5分前」、「終了」はスタッフがお知らせします。
3. 休憩時間は、「本」の方は「書庫(CEC)」でお休みください。「読者」の方は「対話室(ラウンジ)」でお休みください。
4. 15時40分からみんなで感想を共有し合う「座談会」を行います。可能な方はなるべくご参加ください。
5. お帰りの際は、必ず「アンケート」を記入してスタッフにお渡しください。

タイムテーブル

セッション1 13:00~13:30	セッション2 13:40~14:10	セッション3 14:20~14:50	セッション4 15:00~15:30	
yummyさん Aブース	Aブース	おやすみ	Aブース	休憩 座談会
きのこさん Bブース	休憩	休憩	おやすみ	
悠さん Cブース	おやすみ	Cブース	休憩	
おちゆにさん おやすみ	Dブース	Dブース	Dブース	
パンダさん おやすみ	Eブース	Eブース	Eブース	

会場図

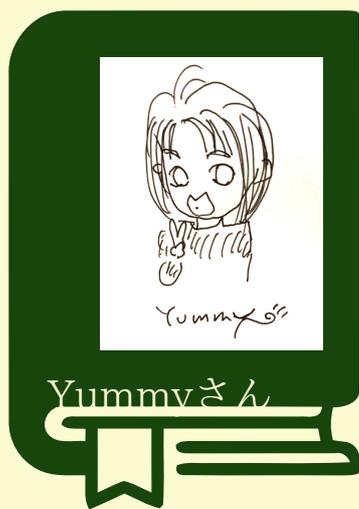


本の紹介

ブックリスト

氏名	カテゴリー
1 yummyさん	発達障がい
2 きのこさん	ポリアモリー(複数愛)
3 悠さん	クレプトマニア(窃盗症)・摂食障がい・Xジェンダー
4 おちゆにさん	外国ルーツ
5 バンダさん	元受刑者

『凸凹と向き合うーワタシの場合ー』



あらすじ

サークルの立ち上げや国際会議への参加…仲間たちに支えられて成功体験を積み重ねてきた学生時代。「私ってすごいかも！」そう思っていたのに社会人になったら状況が一転、何をやっても上手くできない日々に。

「どうやら自分は他の人とは違うらしい…」そう思ってから10年弱、辿り着いたのが「発達障害」でした。

今となっては「発達障害」もよく聞く言葉になりましたが、自分に障害があることを知らずに大きくなった人も大勢います。「これはもしかして自分の話かも？」そう思う瞬間に出会えるかもしれません。

司書から一言

「私の人生(ストーリー)を知っていることがあなたの人生の選択肢を増やすことに繋がれば」と笑顔で語るYummyさん。上手くいかないことがあっても自分に合った生き方がある、という前向きさに勇気をもらえました。

当日はサークルや恋愛、就活etc…私たちの身近な話題に引きつけながら今までの人生を語ってくださいます！自分の障害と向き合いサバイバルし続けるYummyさんのストーリーを皆さんも読んでみませんか？



本の紹介

『ポリアモリーという生き方』



きのコさん

あらすじ

好きな人が何人もいるのが私にとっての普通。でも誰かに嘘をつきながら浮気を隠し通すのは苦手で、私は病気なんだと自分自身を責め続けた日々。そんな中で、28歳のとき、関係者全員の合意を得た上で複数の人と交際する”ポリアモリー”という生き方を選択しました。

みんなに”ポリアモリー”としての生き方を勧めたいわけではない、ただ私が私として生きる道を選択しただけだと語るきのコさん。

恋愛の面だけでなく、進路や人生全体においても、「自分って何なんだろう」「私はずっと孤独で、1人なんじゃないか」誰しもが抱えたことのあるそんな悩みや不安について、きのコさんとの対話を通じて考えてみませんか。

司書から一言

ポリアモリーという言葉に聞き馴染みのない方も多いかもしれません。私自身、きのコさんと出会うまでこの言葉を知らず、自分が今まで持っていた恋愛に対する考えとは違うかもしれないと不安な気持ちがありました。しかし、とってもしさくで優しいきのコさんの人柄に、打ち合わせでは楽しく色々なお話をすることができました。ヒューマンライブラリーが大好きだというきのコさん。一方的にお話するより読者の皆さんと対話をしたい、質問や恋バナ、人生相談も大歓迎！とのことなので、ぜひ肩の力を抜いて遊びに来てください！

『盗らない生活への道のり』



悠さん

あらすじ

女性性への嫌悪感と社会の求めるジェンダーロールとの葛藤。

摂食障害による過食嘔吐が続く日々。

食費を抑えたいという思いは徐々にエスカレートし、万引き行為に頭を支配されてしまうように。自身の生き方を見直すきっかけとなったクレプトマニアとは、一体どのようなものなのでしょうか。

「人に頼ることができない」

「他者評価を気にし、自分を犠牲にしてまでやろうとしてしまう」

現在は依存症予防教育アドバイザーとして活動する悠さんの、決して遠い世界ではない依存症についてのお話です。

司書から一言

Xジェンダー、摂食障害、うつ、クレプトマニア——様々な困難や葛藤がありながらも自身と向き合い、発信を続ける姿に感銘を受けました。

誰もが依存症になり得ること、そしてそこから脱することの難しさを改めて感じ、読者の皆さんの考えるきっかけになればと思います。



本の紹介

『想像して、見えていないもの』



おちゅにさん

あらすじ

ハフポスト日本版のニュースエディター、金春喜(きん・ちゅに)さん。韓国籍だが東京で生まれ育ち、韓国語はほぼ話せないという。大学院生のときに出会ったフィリピンから来日した中学生が、日本語がわからないにもかかわらず発達検査を受けることになり、「発達障害」と診断されたことを知った。違和感を覚え、その理由や経緯などをインタビュー調査することに。

「当事者が進んでことばにしない背景を、ことばにされないからといって、ないもののように捉えるというのは、正しいことではない」そう語る金さんとの対話を通して、今まで見えていなかったものを見てくださいませんか？

司書から一言

私たちが目にする様々な情報、それはどの立場の人が発信したものなのでしょうか。当事者の声がどれだけ反映されているのでしょうか。大きな声にかき消されて、無いこととされてしまう小さな声を拾い上げるおちゅにさんは、一個人の問題ではなく、構造的な問題に目を向け当事者の思いを大切にします。あらゆるマイノリティに属する人にとって、励みと希望になることでしょう。

『女子刑務所WALKER』



パンダさん

あらすじ

外国籍、発達障がい、宗教二世、そして貧困…たどり着いていたのは「刑務所」という場所でした。「社会」からは見えなかった「世の中」にここで初めて気がつくことになります。中で出会った様々な人から、不自由の中で得られた自由から、自分なりの発見をしました。周りを渦巻いていた状況がすべて、今に繋がっていたのです。

司書から一言

パンダさんの世の中を見る目は出会った人やことばで作られています。刑務所の世界から見た社会のもやもやを、パンダさんなりの視点で語ってくれます。「元受刑者」というレッテルにとどまらないたくさんの「カテゴリー」を持つパンダさんにぜひ出会っててください！



ヒューマンライブラリーに参加される方 (本・読者)へ

本イベントは寛容で多様性のある社会を目指し、ふだん間接的にしかお話しすることのできない方々との出会いの機会を提供し、理解を深めてもらうことを目的に開催しております。

ヒューマンライブラリーのご利用には、以下の利用規約への同意が必要です。

- 1、意図的に「本」「読者」を傷つけるような言動をしないでください。
- 2、主催者並びに「本」及び同席者に無断で会場内の撮影や録音・録画をしないでください。
- 3、対話中に知り得た「本」「読者」の個人情報等を許可なくSNSや、インターネット、印刷物等のメディアに公開しないでください。
- 4、「本」の方が身体的・精神的苦痛を感じ、対話を継続することが困難になった場合には、途中で退席していただくことがあります。
- 5、その他、緊急事態が起こった際には本の貸し出しを中断する可能性があります。その場合は速やかにスタッフの指示に従ってください。

以上の規約に反する行為をしたとみなされた場合、利用を中止し退場していただく場合がございます。

利用同意書に署名された方のみ、「本」との対話をすることができます。署名していただく「同意書」は、受付で用意しています。

※なお、スタッフが記録のために写真撮影することがあります。顔出しを希望されない方はお申し出ください。

※記入いただいた個人情報等は、本イベントのお知らせ以外に使用することは一切ございません。イベント終了後、責任をもって厳重に処理させていただきます。





ヒューマンライブラリー@青学

主催 青山学院大学シビックエンゲージメントセンター

運営 ヒューマンライブラリー@青学司書学生プロジェクト

後援 一般社団法人東京ヒューマンライブラリー協会